

# YMアセット・ オーストラリア 好配当資産ファンド

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/資産複合
信託期間	2017年9月15日から、2044年9月20日までです。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ) オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ) ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) の受益証券
運用方法	①主として、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) の受益証券を通じて、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざします。 なお、リアルアセット関連有価証券とは、以下の有価証券をいいます。 イ) リート ロ) 上場インフラファンド ハ) リアルアセットを保有または運営する企業の株式 ※1「リアルアセット」とは、使用料や賃料等のキャッシュフローを生み出すインフラ関連施設や不動産等の実物資産をさします。 ※2ニュージーランドのリアルアセット関連有価証券にも投資することがあります。 ②オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) では、配当の成長性および継続性、利益成長性、収益基盤の安定性等に着目し投資を行ないます。 ③オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) では、原則として、為替リスクを回避するための為替ヘッジを行ないません。 ④この投資信託は、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) とダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) に投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) への投資割合を高位に維持することを基本とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) などとし、原則として、継続した分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

## 運用報告書 (全体版)

第28期 (決算日 2024年9月20日)

第29期 (決算日 2024年12月20日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「YMアセット・オーストラリア好配当資産ファンド 愛称：トリプル維新 (リアルオージー)」は、このたび、第29期の決算を行ないました。

ここに、第28期、第29期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## YMfg | ワイエムアセットマネジメント

山口県下関市竹崎町四丁目2番36号

お問い合わせ先 083-223-7124

(営業日の9:00~17:00)

ホームページ <http://www.ymam.co.jp/>

## 最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S&PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率		
	円	円	%		%		%	%	百万円
第20期末(2022年9月20日)	12,699	60	6.1	15,772	8.6	14,421	8.6	99.0	2,304
第21期末(2022年12月20日)	12,401	60	△ 1.9	15,755	△ 0.1	14,200	△ 1.5	99.0	2,336
第22期末(2023年3月20日)	11,826	100	△ 3.8	15,176	△ 3.7	14,044	△ 1.1	99.0	2,027
第23期末(2023年6月20日)	12,709	100	8.3	17,409	14.7	15,181	8.1	99.1	2,212
第24期末(2023年9月20日)	12,235	100	△ 2.9	17,211	△ 1.1	15,308	0.8	99.0	2,126
第25期末(2023年12月20日)	12,582	100	3.7	17,910	4.1	16,396	7.1	99.1	1,997
第26期末(2024年3月21日)	13,527	100	8.3	19,151	6.9	18,850	15.0	99.0	2,078
第27期末(2024年6月20日)	14,226	100	5.9	20,980	9.5	20,717	9.9	99.0	1,954
第28期末(2024年9月20日)	14,638	100	3.6	20,505	△ 2.3	21,576	4.1	99.1	1,953
第29期末(2024年12月20日)	13,704	100	△ 5.7	20,902	1.9	20,461	△ 5.2	98.9	1,741

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに、S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとにワイエムアセットマネジメントが円換算し、当ファンド設定日を10,000として計算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) および S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

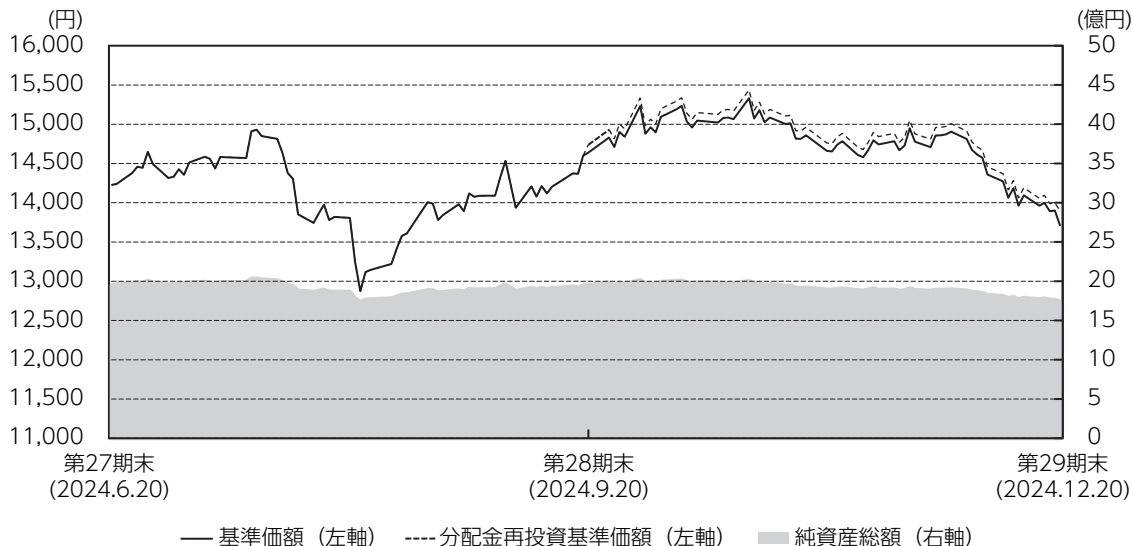
## 当作成期中の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S & PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	
第28期	(期 首) 2024年 6 月20日	円	%					%
		14,226	—	20,980	—	20,717	—	99.0
	6 月末	14,492	1.9	21,304	1.5	20,981	1.3	99.0
	7 月末	13,975	△1.8	20,697	△1.3	20,670	△0.2	98.9
	8 月末	14,087	△1.0	20,444	△2.6	20,369	△1.7	99.1
(期 末) 2024年 9 月20日	14,738	3.6	20,505	△2.3	21,576	4.1	99.1	
第29期	(期 首) 2024年 9 月20日	14,638	—	20,505	—	21,576	—	99.1
	9 月末	15,232	4.1	21,396	4.3	22,434	4.0	99.2
	10月末	14,813	1.2	21,568	5.2	21,745	0.8	99.2
	11月末	14,906	1.8	21,644	5.6	22,115	2.5	99.1
	(期 末) 2024年12月20日	13,804	△5.7	20,902	1.9	20,461	△5.2	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

運用経過

基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第28期首：14,226円

第29期末：13,704円 (既払分配金200円)

騰落率：△2.3% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

オーストラリアのリートやインフラ (社会基盤) 関連銘柄が上昇したことがプラスに働きましたが、為替相場においてオーストラリア・ドルが対円で下落 (円高) したことがマイナスに働き、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 投資環境について

### ○オーストラリア・リアルアセット（※）市況

当作成期首から2024年7月にかけては、米国のCPI（消費者物価指数）が市場予想を下振れたことから、米国において年内の利下げ織り込みが加速したことなどを背景に、堅調に推移しました。8月初旬は、米国の雇用統計が市場予想を下回ったことから景気後退懸念が高まり、下落しました。その後は、景気後退懸念が和らいだことや、パウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長が9月にも利下げに踏み切る姿勢を示したことなどから上昇しました。9月は、米国の製造業や雇用、物価関連の経済指標の結果などを背景に、9月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）に向け利下げ織り込みが加速したことなどから上昇しました。10月から11月中旬にかけては、米国やオーストラリアの経済指標の堅調さやトランプ次期大統領の政策への懸念などから、オーストラリアの長期金利が上昇し、軟調に推移しました。その後は、年初来堅調に推移してきた反動やオーストラリアの金融政策の先行きが見通しにくいことなどもあり、方向感の出ない中、弱含みで推移し、当作成期末を迎えました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

### ○為替市況

当作成期首より、日本の金融市場が他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調となりました。その後、過度な円安進行に対して日本政府・日銀が為替介入を行ったものの、円安基調は継続しました。しかし2024年7月以降は、日銀が7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから大幅な円高豪ドル安に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調となりました。8月中旬から下旬にかけて、豪ドルは対円でいったん持ち直しましたが、9月前半には、オーストラリア金利の低下による日本とオーストラリアの金利差の縮小などから、円高豪ドル安となりました。9月後半から11月前半にかけては、オーストラリアの金利が上昇したことで日本とオーストラリアの金利差の拡大が意識され、円安豪ドル高が進行しました。その後は、オーストラリアの金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、円高に転じ、当作成期末を迎えました。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

当ファンドは、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）とダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）に投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券を高位に組み入れました。

### ○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

大規模ショッピングモールをオーストラリア全土で運営するSCENTRE GROUP（不動産）、オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、住宅施設やショッピングモール、物流施設を保有するSTOCKLAND（不動産）、水力や地熱発電などの再生可能エネルギーに強みがあるニュージーランドの大手発電企業CONTACT ENERGY（公益事業）などを高位に組み入れました。

### ○ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）

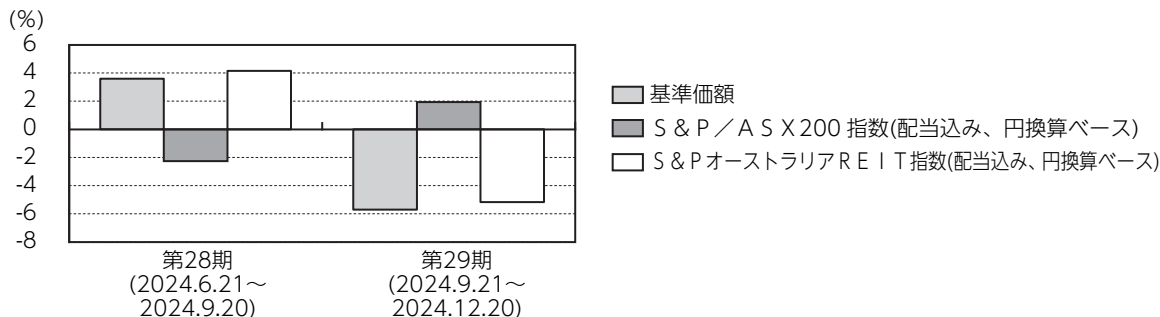
流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（S & P / A S X 200指数（配当込み、円換算ベース）およびS & PオーストラリアREIT指数（配当込み、円換算ベース））との騰落率の対比です。

参考指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。



(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

## 分配金について

1万口当り分配金（税込み）は第28期は100円、第29期は100円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項目	第28期	第29期
	2024年6月21日 ～2024年9月20日	2024年9月21日 ～2024年12月20日
当期分配金（税込み）（円）	100	100
対基準価額比率（%）	0.68	0.72
当期の収益（円）	100	100
当期の収益以外（円）	-	-
翌期繰越分配対象額（円）	5,290	5,558

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第28期	第29期
(a) 経費控除後の配当等収益	118.72円	366.45円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	393.12	0.00
(c) 収益調整金	1,851.88	1,882.62
(d) 分配準備積立金	3,026.63	3,409.47
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	5,390.35	5,658.54
(f) 分配金	100.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	5,290.35	5,558.54

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 今後の運用方針

### ○当ファンド

オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

### ○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

### ○ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第28期～第29期		項 目 の 概 要
	(2024年6月21日～2024年12月20日)		
	金 額	比 率	
信託報酬	70円	0.482%	信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）×各期の日数／年間の日数 <b>期中の平均基準価額は14,442円です。</b>
（投信会社）	(28)	(0.193)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(40)	(0.276)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝各期中の売買委託手数料／各期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税／各期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.005	その他費用＝各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合 計	70	0.488	

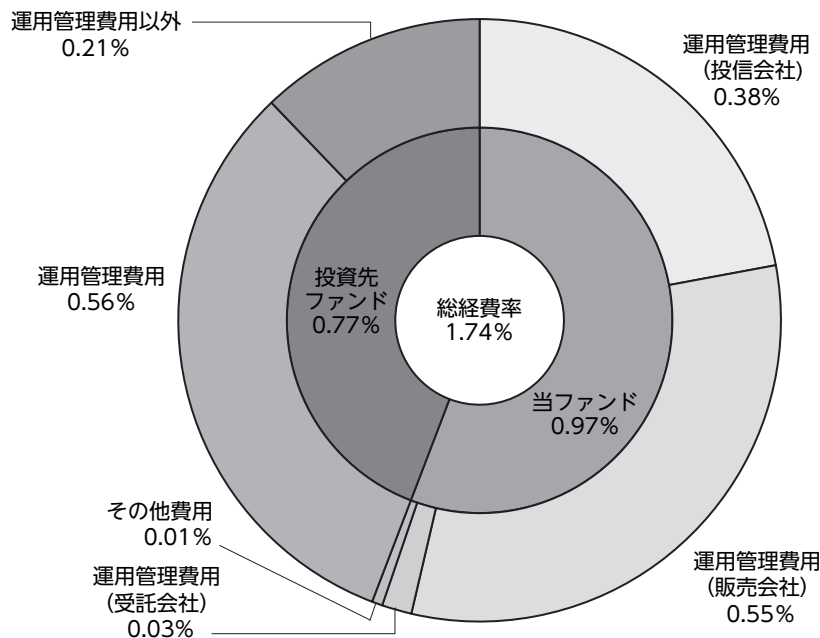
- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注3) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。



## 参考情報

## ■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



総経費率 (①+②+③)	1.74%
①当ファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.56%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.21%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2024年6月21日から2024年12月20日まで)

決算期		第 28 期 ~ 第 29 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
国	オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)	61,683.195	75,000	157,178.163	195,000
内	ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	-	-	-	-

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表  
国内投資信託受益証券

銘 柄		第 29 期 末		
		口 数	評 価 額	比 率
		千口	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)		1,491,517.802	1,720,167	
ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)		1,103.11	1,094	
合 計	金 額	1,492,620.912	1,721,261	
	銘 柄 数 < 比 率 >	2 銘柄		< 98.9% >

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月20日現在

項 目	第 29 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,721,261	97.8
コール・ローン等、その他	38,725	2.2
投資信託財産総額	1,759,987	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年9月20日)、(2024年12月20日)現在

項 目	第 28 期 末	第 29 期 末
(A) 資産	1,975,891,990円	1,759,987,528円
コール・ローン等	21,405,822	24,725,652
投資信託受益証券(評価額)	1,936,486,168	1,721,261,876
未収入金	18,000,000	14,000,000
(B) 負債	22,269,745	18,713,080
未払収益分配金	13,346,407	12,706,228
未払解約金	4,224,419	1,359,926
未払信託報酬	4,645,870	4,594,463
その他未払費用	53,049	52,463
(C) 純資産総額(A - B)	1,953,622,245	1,741,274,448
元本	1,334,640,755	1,270,622,873
次期繰越損益金	618,981,490	470,651,575
(D) 受益権総口数	1,334,640,755口	1,270,622,873口
1万口当り基準価額(C/D)	14,638円	13,704円

(注) 元本状況  
期首元本額 1,374,226,789円 1,334,640,755円  
追加設定元本額 6,883,902円 10,955,513円  
一部解約元本額 46,469,936円 74,973,395円

■損益の状況

第28期 自 2024年6月21日 至 2024年9月20日

第29期 自 2024年9月21日 至 2024年12月20日

項 目	第 28 期	第 29 期
(A) 配当等収益	16,935,699円	51,207,850円
受取配当金	16,928,087	51,197,549
受取利息	7,612	10,301
(B) 有価証券売買損益	56,075,846	△ 152,313,580
売買益	57,672,105	2,312,680
売買損	△ 1,596,259	△ 154,626,260
(C) 信託報酬等	△ 4,698,919	△ 4,646,926
(D) 当期損益金(A + B + C)	68,312,626	△ 105,752,656
(E) 前期繰越損益金	403,946,365	433,215,586
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	160,068,906	155,894,873
(G) 合計(D + E + F)	632,327,897	483,357,803
(H) 収益分配金 次期繰越損益金(G + H)	△ 13,346,407	△ 12,706,228
追加信託差損益金 (配当等相当額)	160,068,906	155,894,873
(売買損益相当額)	( 247,159,655)	( 239,210,255)
(売買損益相当額)	(△ 87,090,749)	(△ 83,315,382)
分配準備積立金	458,912,584	467,070,282
繰越損益金	-	△ 152,313,580

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。  
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。  
(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 28 期	第 29 期
(a) 経費控除後の配当等収益	15,845,550円	46,560,924円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	52,467,076円	0円
(c) 収益調整金	247,159,655円	239,210,255円
(d) 分配準備積立金	403,946,365円	433,215,586円
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	719,418,646円	718,986,765円
(f) 1万口当り当期分配対象額	5,390.35円	5,658.54円
(g) 分配金	13,346,407円	12,706,228円
(h) 1万口当り分配金	100円	100円

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 28 期	第 29 期
1万口当り分配金（税引前）	100円	100円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

当ファンドは一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。NISAをご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。

ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。当ファンドはNISAの成長投資枠（特定非課税管理勘定）の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問い合わせ下さい。

お知らせ

○該当事項はありません。

# オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)

## 運用報告書 (全体版)

第28期 (決算日 2024年8月15日)

第29期 (決算日 2024年11月15日)

(作成対象期間 2024年5月16日~2024年11月15日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	無期限 (設定日：2017年8月3日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの受益証券
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場 (上場予定を含みます。) または店頭登録 (登録予定を含みます。) の株式 (DR (預託証券) を含みます。) ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、配当等収益等を全額分配し、売買益等は基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## 最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P / A S X 200指数 (税引後配当込み、円換算)		S & P オーストラリアREIT 指数 (税引後配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率				
	円	円	%		%		%	%	%	%	百万円
20期末 (2022年 8月15日)	11,891	300	6.6	15,796	5.0	14,590	4.4	18.7	-	79.8	2,248
21期末 (2022年11月15日)	11,161	120	△ 5.1	16,225	2.7	13,867	△ 5.0	15.1	-	81.8	2,322
22期末 (2023年 2月15日)	11,411	110	3.2	16,705	3.0	14,547	4.9	13.9	-	84.9	2,292
23期末 (2023年 5月15日)	11,007	100	△ 2.7	16,197	△ 3.0	14,068	△ 3.3	14.9	-	82.2	2,157
24期末 (2023年 8月15日)	10,994	100	0.8	17,017	5.1	14,161	0.7	16.6	-	81.4	2,131
25期末 (2023年11月15日)	10,663	140	△ 1.7	17,221	1.2	14,452	2.1	17.3	-	81.5	1,921
26期末 (2024年 2月15日)	11,265	510	10.4	18,580	7.9	16,754	15.9	14.6	-	83.4	1,911
27期末 (2024年 5月15日)	11,965	330	9.1	20,534	10.5	19,081	13.9	17.4	-	81.7	1,878
28期末 (2024年 8月15日)	11,567	110	△ 2.4	19,578	△ 4.7	18,880	△ 1.1	18.0	-	80.3	1,793
29期末 (2024年11月15日)	12,350	350	9.8	21,670	10.7	20,602	9.1	17.1	-	82.2	1,829

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200指数 (税引後配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) S & P オーストラリアREIT指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P オーストラリアREIT指数 (税引後配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は最近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

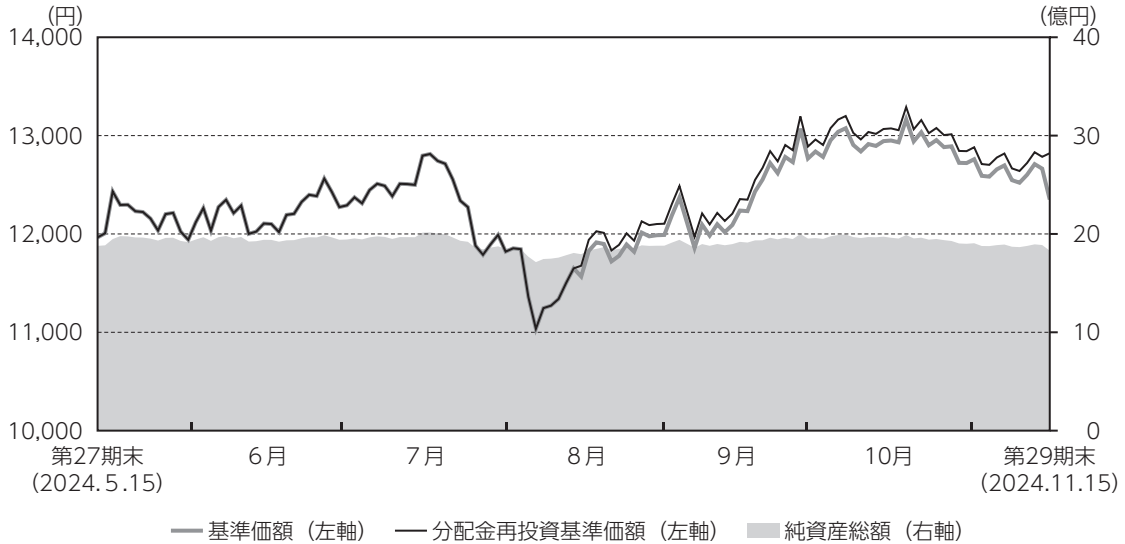
(注7) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

S & P / A S X 200指数およびS & P オーストラリアREIT指数はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S&P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup>およびCDX<sup>®</sup>は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones<sup>®</sup>は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはS P D J Iに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）は、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P / A S X 200指数およびS & P オーストラリアREIT指数のいかなる過誤、遺漏、または中絶に対しても一切責任を負いません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### ■ 基準価額・騰落率

第28期首：11,965円

第29期末：12,350円（既払分配金460円）

騰落率：7.2%（分配金再投資ベース）

### ■ 基準価額の主な変動要因

為替相場においてオーストラリア・ドルが対円で下落（円高）したことはマイナスに働きましたが、オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が上昇したことがプラスに働き、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、円換算) (参考指数)		S & P オーストラリア REIT 指数 (税引後配当込み、円換算) (参考指数)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率					
第28期	(期首)2024年 5 月15日	円 11,965	% -	20,534	% -	19,081	% -	% 17.4	% -	% 81.7
	5 月末	11,941	△ 0.2	20,330	△ 1.0	19,141	0.3	17.8	-	79.2
	6 月末	12,273	2.6	21,300	3.7	19,613	2.8	18.3	-	78.7
	7 月末	11,820	△ 1.2	20,334	△ 1.0	19,165	0.4	17.7	-	80.1
	(期末)2024年 8 月15日	11,677	△ 2.4	19,578	△ 4.7	18,880	△1.1	18.0	-	80.3
第29期	(期首)2024年 8 月15日	11,567	-	19,578	-	18,880	-	18.0	-	80.3
	8 月末	11,990	3.7	20,409	4.2	19,189	1.6	17.5	-	79.4
	9 月末	12,767	10.4	21,049	7.5	20,578	9.0	17.0	-	81.9
	10月末	12,760	10.3	21,422	9.4	20,604	9.1	17.8	-	81.3
	(期末)2024年11月15日	12,700	9.8	21,670	10.7	20,602	9.1	17.1	-	82.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2024.5.16~2024.11.15)

## ■オーストラリア・リアルアセット（※）市況

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄は上昇しました。

オーストラリア・リアルアセット市況は、当作成期首から2024年6月にかけて、オーストラリアの長期金利が高止まる中、おおむね横ばいで推移しました。7月は、米国のCPI（消費者物価指数）が市場予想を下振れたことから、米国において年内の利下げ織り込みが加速したことなどを背景に、堅調に推移しました。8月初旬は、米国の雇用統計が市場予想を下回ったことから景気後退懸念が高まり、下落しました。その後は、景気後退懸念が和らいだことや、パウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長が9月にも利下げに踏み切る姿勢を示したことなどから上昇しました。9月は、米国の製造業や雇用、物価関連の経済指標の結果などを背景に、9月のFOMC（米国連邦公開市場委員会）に向け利下げ織り込みが加速したことなどから上昇しました。10月から当作成期末にかけては、米国やオーストラリアの経済指標の堅調さ、またトランプ次期米国大統領の政策への懸念などから、オーストラリアの長期金利は上昇し、軟調に推移しました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

## ■為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

豪ドル対円為替相場は、当作成期首より、日本の金融市場が他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調となりました。その後、過度な円安進行に対して日本政府・日銀が為替介入を行ったものの、円安基調は継続しました。しかし2024年7月以降は、日銀が7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから大幅な円高豪ドル安に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調となりました。8月中旬から下旬にかけて、豪ドルは対円でいったん持ち直しましたが、9月前半には、オーストラリア金利の低下による日本とオーストラリアの金利差の縮小などから、円高豪ドル安となりました。9月後半から当作成期末にかけては、オーストラリアの金利が上昇したことで日本とオーストラリアの金利差の拡大が意識され、円安豪ドル高が進行しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

## ■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

## ■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。



## ポートフォリオについて

(2024.5.16~2024.11.15)

## ■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

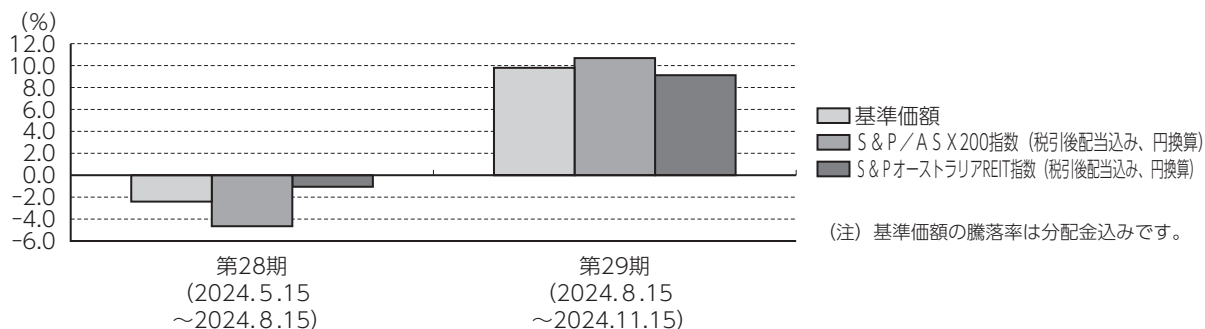
## ■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

大規模ショッピングモールをオーストラリア全土で運営するSCENTRE GROUP（不動産）、オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、住宅施設やショッピングモール、物流施設を保有するSTOCKLAND（不動産）、水力や地熱発電などの再生可能エネルギーに強みがあるニュージーランドの大手発電企業CONTACT ENERGY（公益事業）などを高位に組み入れました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配金資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第28期	第29期
	2024年5月16日 ～2024年8月15日	2024年8月16日 ～2024年11月15日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>110</b>	<b>350</b>
対基準価額比率（%）	0.94	2.76
当期の収益（円）	100	345
当期の収益以外（円）	10	5
翌期繰越分配対象額（円）	2,233	2,615

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第28期	第29期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 103.01円	✓ 152.13円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	✓ 578.43
(c) 収益調整金	993.61	1,008.23
(d) 分配準備積立金	✓ 1,247.36	✓ 1,226.43
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,343.98	2,965.23
(f) 分配金	110.00	350.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,233.98	2,615.23

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また、長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第28期～第29期 (2024.5.16～2024.11.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	35円	0.285%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,328円です。
(投 信 会 社)	(33)	(0.266)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(1)	(0.005)	販売会社分は、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	4	0.032	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0.012)	
(投 資 証 券)	(3)	(0.021)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	13	0.108	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.026)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(10)	(0.079)	配当金の再投資に係る税金支払い、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	53	0.426	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2024年5月16日から2024年11月15日まで)

決算期	第28期～第29期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	33,984	73,220	117,483	258,860

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2024年5月16日から2024年11月15日まで)

項目	第28期～第29期	
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	90,611千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	339,553千円	
(c) 売買高比率(a)÷(b)	0.26	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第27期末		第29期末	
	□数	□数	□数	評価額
	千口	千口	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	888,448	804,950	1,826,029	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年11月15日現在

項目	第29期末	
	評価額	比率
	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	1,826,029	96.3
コール・ローン等、その他	69,494	3.7
投資信託財産総額	1,895,524	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月15日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=101.13円、1ニュージーランド・ドル=91.63円です。

(注3) オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドにおいて、第29期末における外貨建純資産(1,844,108千円)の投資信託財産総額(1,850,392千円)に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年8月15日)、(2024年11月15日)現在

項目	第28期末	第29期末
(A) 資産	1,813,801,290円	1,895,524,079円
コール・ローン等	23,073,024	58,383,310
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド(評価額)	1,790,728,266	1,826,029,569
未収入金	—	11,111,200
(B) 負債	19,830,085	65,649,169
未払収益分配金	17,059,794	51,857,961
未払解約金	—	10,999,999
未払信託報酬	2,743,699	2,738,076
その他未払費用	26,592	53,133
(C) 純資産総額(A-B)	1,793,971,205	1,829,874,910
元本	1,550,890,406	1,481,656,029
次期繰越損益金	243,080,799	348,218,881
(D) 受益権総口数	1,550,890,406口	1,481,656,029口
1万口当り基準価額(C/D)	11,567円	12,350円

\*当作成期首における元本額は1,570,023,809円、当作成期間(第28期～第29期)中における追加設定元本額は60,285,534円、同解約元本額は148,653,314円です。

\*第29期末の計算口数当りの純資産額は12,350円です。

## ■ 損益の状況

第28期 自2024年5月16日 至2024年8月15日  
 第29期 自2024年8月16日 至2024年11月15日

項 目	第 28 期	第 29 期
(A) 配当等収益	1,441円	2,822円
受取利息	1,441	2,822
(B) 有価証券売買損益	△ 43,741,376	170,032,280
売買益	2,087,550	179,352,603
売買損	△ 45,828,926	△ 9,320,323
(C) 信託報酬等	△ 2,770,291	△ 2,764,617
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 46,510,226	167,270,485
(E) 前期繰越損益金	193,452,068	122,689,459
(F) 追加信託差損益金	113,198,751	110,116,898
(配当等相当額)	( 154,098,385)	( 149,385,483)
(売買損益相当額)	(△ 40,899,634)	(△ 39,268,585)
(G) 合計(D + E + F)	260,140,593	400,076,842
(H) 収益分配金	△ 17,059,794	△ 51,857,961
次期繰越損益金(G + H)	243,080,799	348,218,881
追加信託差損益金	113,198,751	110,116,898
(配当等相当額)	( 154,098,385)	( 149,385,483)
(売買損益相当額)	(△ 40,899,634)	(△ 39,268,585)
分配準備積立金	192,368,227	238,101,983
繰越損益金	△ 62,486,179	-

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

## ■ 収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 28 期	第 29 期
(a) 経費控除後の配当等収益	15,975,953円	22,541,051円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	85,703,607
(c) 収益調整金	154,098,385	149,385,483
(d) 分配準備積立金	193,452,068	181,715,286
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	363,526,406	439,345,427
(f) 分配金	17,059,794	51,857,961
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	346,466,612	387,487,466
(h) 受益権総口数	1,550,890,406口	1,481,656,029口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 28 期	第 29 期
1万口当り分配金 (税込み)	110円	350円

<補足情報>

当ファンド（オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用））が投資対象としている「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の決算日（2024年8月5日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第29期の決算日（2024年11月15日）現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2024年5月16日から2024年11月15日まで)

買				売			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
NEXTDC LTD (オーストラリア)	9	16,898	1,877	AGL ENERGY LTD (オーストラリア)	22	25,237	1,147
INFRATIL LTD (ニュージーランド)	10	10,285	1,028	CONTACT ENERGY LTD (ニュージーランド)	20	15,571	778
				GENESIS ENERGY LTD (ニュージーランド)	50	10,713	214
				MERCURY NZ LTD (ニュージーランド)	12	7,574	631
				MERIDIAN ENERGY LTD (ニュージーランド)	7	4,331	618

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

(2024年5月16日から2024年11月15日まで)

買				売			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
STOCKLAND (オーストラリア)	18	9,580	532	GOODMAN GROUP (オーストラリア)	6	22,155	3,692
GPT GROUP (オーストラリア)	12	6,084	507	SCENTRE GROUP (オーストラリア)	55	19,356	351
				APA GROUP (オーストラリア)	23	17,665	768
				CHARTER HALL GROUP (オーストラリア)	10.5	13,930	1,326
				GPT GROUP (オーストラリア)	25	11,554	462
				TRANSURBAN GROUP (オーストラリア)	6.413	8,463	1,319
				ARENA REIT (オーストラリア)	20	8,371	418
				HOTEL PROPERTY INVESTMENTS (オーストラリア)	25	8,260	330
				HOMECO DAILY NEEDS REIT (オーストラリア)	60	7,497	124
				DEXUS/AU (オーストラリア)	10	7,132	713

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2024年11月15日現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンド（810,788千口）の内容です。

(1) 外国株式

銘柄	株数	2024年11月15日現在		業種等
		評価額	業種等	
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	千オーストラリア・ドル	千円	
ORIGIN ENERGY LTD	80	81	8,211	公益事業
AGL ENERGY LTD	135	141	14,280	公益事業
ATLAS ARTERIA	167.28	80	8,103	資本財・サービス
NEXTDC LTD	220	374	37,889	情報技術
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	602.28 4銘柄	677 < 3.7%>	
(ニュージーランド)	百株	千ニュージーランド・ドル	千円	
MERIDIAN ENERGY LTD	236.55	139	12,788	公益事業
MERCURY NZ LTD	174.76	116	10,648	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	451.51	94	8,646	公益事業
MANAWA ENERGY LTD	116	61	5,675	公益事業
INFRATIL LTD	933.95	1,168	107,057	金融
CONTACT ENERGY LTD	1,307.34	1,116	102,301	公益事業
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	3,220.11 6銘柄	247,119 <13.4%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	3,822.39 10銘柄	315,604 <17.2%>	

(注1) 邦貨換算金額は、2024年11月15日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。  
 (注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。  
 (注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資証券

銘柄	口数	2024年11月15日現在		業種等
		評価額	業種等	
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	千口	千オーストラリア・ドル	千円	
DEXUS/AU	107	745	75,421	
HEALTHCO HEALTHCARE & WELLNESS REI	50	56	5,688	
HMC CAPITAL LTD	35	389	39,395	
ABACUS STORAGE KING STAPLED UNITS	194.642	231	23,424	
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	115.277	299	30,310	
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	60.517	181	18,360	
RURAL FUNDS GROUP	87.119	161	16,343	
WAYPOINT REIT	29.831	73	7,481	
CHARTER HALL LONG WALE REIT	91.882	352	35,681	
CENTURIA OFFICE REIT	67.679	78	7,939	
CENTURIA CAPITAL GROUP	150.763	275	27,825	
HOMECO DAILY NEEDS REIT	390.289	482	48,745	
APA GROUP	12.123	82	8,349	
REGION GROUP	204.115	436	44,174	
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	37.919	94	9,510	
NATIONAL STORAGE REIT	257.646	636	64,357	
DEXUS INDUSTRIA REIT STAPLED UNIT	37.348	97	9,895	
SCENTRE GROUP	490	1,705	172,446	
ARENA REIT	198.847	801	81,040	
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	96.982	352	35,602	
GPT GROUP	220.7	1,024	103,561	
CHARTER HALL RETAIL REIT	32.557	110	11,161	
MIRVAC GROUP	455	969	98,010	
STOCKLAND	300.055	1,548	156,577	
ABACUS GROUP UNIT	80	97	9,829	
GOODMAN GROUP	48.4	1,795	181,544	
VICINITY CENTRES	323	684	69,249	
CHARTER HALL GROUP	66.5	1,027	103,903	
INGENIA COMMUNITIES GROUP	20.658	102	10,383	
オーストラリア・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	4,261.849 29銘柄	14,893 <81.9%>	
(ニュージーランド)	千口	千ニュージーランド・ドル	千円	
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	56	5,160	
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	44	4,117	
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	79.972 2銘柄	101 < 0.5%>	
合 計	口数、金額 銘柄数<比率>	4,341.821 31銘柄	1,515,493 <82.4%>	

(注1) 邦貨換算金額は、2024年11月15日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。  
 (注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。  
 (注3) 評価額の単位未満は切捨て。

# オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

## 運用報告書 第16期（決算日 2024年8月5日）

（作成対象期間 2024年2月6日～2024年8月5日）

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
株式組入制限	無制限

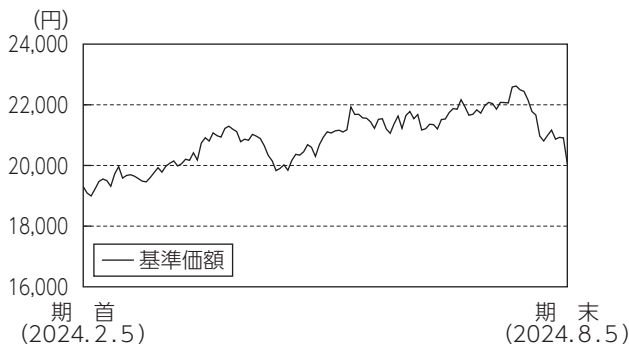
## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>



■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、円換算)		S & P オーストラリア R E I T 指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 証 券 組 入 比 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	%	%	%
(期首)2024年2月5日	19,303	-	23,367	-	17,225	-	14.1	-	84.3
2月末	19,459	0.8	23,687	1.4	17,692	2.7	14.0	-	80.2
3月末	21,222	9.9	24,769	6.0	19,848	15.2	13.3	-	81.6
4月末	20,685	7.2	25,015	7.1	18,967	10.1	16.3	-	82.7
5月末	21,060	9.1	25,341	8.4	19,733	14.6	17.8	-	79.4
6月末	21,656	12.2	26,549	13.6	20,220	17.4	18.3	-	78.9
7月末	20,866	8.1	25,345	8.5	19,757	14.7	17.7	-	80.2
(期末)2024年8月5日	20,055	3.9	23,979	2.6	18,837	9.4	17.7	-	80.2

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) S & P オーストラリア R E I T 指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P オーストラリア R E I T 指数 (税引後配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：19,303円 期末：20,055円 騰落率：3.9%

【基準価額の主な変動要因】

為替相場においてオーストラリア・ドルが対円で下落（円高）したことはマイナスに働きましたが、オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が上昇したことがプラスに働き、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ オーストラリア・リアルアセット（※）市況

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄は上昇しました。

オーストラリア・リアルアセット市況は、当作成期首から2024年3月にかけて、好調な決算を発表した主要物流施設リートにけん引されたことから、堅調に推移しました。4月は、米国の製造業や物価関連の経済指標、オーストラリアのCPI（消費者物価指

数）などが市場予想を上回ったことを受け、利下げ期待が後退し長期金利が上昇したことから、軟調な推移となりました。5月前半は、主要物流施設リートの堅調な業績への期待が高まったことを受け、堅調に推移しました。5月後半から7月上旬にかけては、物件取得や売却、保有物件の評価額のアップデートなど個別企業の動きにも左右されましたが、おおむね横ばいでの推移となりました。7月中旬から当作成期末にかけては、米国のCPIが市場予想を下振れたことから、米国において年内の利下げ織り込みが加速したことなどを背景に、堅調に推移しました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

○ 為替相場

オーストラリア・ドルは対円で下落しました。

当作成期首より、日銀による緩和的な金融政策の維持などを背景に、オーストラリア・ドルは対円で上昇（円安）しました。2024年3月には、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べ緩和的な環境が続く見通し

であることなどから、円安基調となりました。その後は、過度な円安進行に対し政府・日銀が為替介入を行ったものの、市場のリスク選好姿勢の高まりなどから、円安基調は継続しました。しかし7月に入ると、日銀が月内の金融政策決定会合において緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことや、米国株式市場の下落に伴い市場のリスク選好姿勢が後退したことから、オーストラリア・ドルは対円で大幅に下落し、当作成期末を迎えました。

#### ◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また、長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

#### ◆ポートフォリオについて

オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、大規模ショッピングモールをオーストラリア全土で運営するSCENTRE GROUP（不動産）、住宅施設やショッピングモール、物流施設を保有するSTOCKLAND（不動産）、水力や地熱発電などの再生可能エネルギーに強みがあるニュージーランドの大手発電企業CONTACT ENERGY（公益事業）などを高位に組み入れました。

#### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

#### 《今後の運用方針》

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また、長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

#### ■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	13円
(株式)	(3)
(投資証券)	(10)
有価証券取引税	—
その他費用	13
(保管費用)	(6)
(その他)	(7)
合計	26

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

#### ■売買および取引の状況

##### (1) 株 式

(2024年2月6日から2024年8月5日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	オーストラリア	百株	千オーストラリア・ドル	百株	千オーストラリア・ドル
		300 (—)	456 (—)	215	165
国	ニュージーランド	百株	千ニュージーランド・ドル	百株	千ニュージーランド・ドル
		100 (129.91)	107 (131)	690	232

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

(2024年2月6日から2024年8月5日まで)

銘	柄	買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	オーストラリア	千□	千オーストラリア・ドル	千□	千オーストラリア・ドル
	HEALTHCO HEALTHCARE & WELLNESS REI	-	-	50	67
	HMC CAPITAL LTD	35	233	-	-
	ABACUS STORAGE KING STAPLED UNITS	-	-	100	113
	CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	-	-	-	-
	CENTURIA INDUSTRIAL REIT	(3.651)	( 8)	-	-
	RURAL FUNDS GROUP	30	105	-	-
	CENTURIA CAPITAL GROUP	-	-	20	43
	HOMECO DAILY NEEDS REIT	(3.922)	( 7)	-	-
	TRANSURBAN GROUP	-	-	-	-
	APA GROUP	( 4.29)	( 7)	110	136
	NATIONAL STORAGE REIT	-	-	64	825
	SCENTRE GROUP	-	-	81	671
	ARENA REIT	(5.958)	( 13)	-	-
	GPT GROUP	-	-	20	62
	ABACUS GROUP UNIT	(6.592)	( 23)	65	241
	GOODMAN GROUP	-	-	52	219
CHARTER HALL GROUP	-	-	70	81	
			29.8	920	
			7.5	94	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付( )内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式

(2024年2月6日から2024年8月5日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘	柄	株 数	金 額	平均単価	銘	柄	株 数	金 額	平均単価
NEXTDC LTD (オーストラリア)		千株	千円	円	AGL ENERGY LTD (オーストラリア)		千株	千円	円
		22	39,465	1,793			13.5	12,317	912
INFRATIL LTD (ニュージーランド)		10	10,285	1,028	GENESIS ENERGY LTD (ニュージーランド)		50	10,713	214
ORIGIN ENERGY LTD (オーストラリア)		8	8,096	1,012	MERCURY NZ LTD (ニュージーランド)		12	7,574	631
					MERIDIAN ENERGY LTD (ニュージーランド)		7	4,331	618
					ATLAS ARTERIA (オーストラリア)		8	4,233	529

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千円	千円	
ORIGIN ENERGY LTD	-	80	84	7,959	公益事業
AGL ENERGY LTD	490	355	375	35,422	公益事業
ATLAS ARTERIA	247.28	167.28	86	8,211	貴金属・サービス
NEXTDC LTD	-	220	372	35,139	情報技術
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	737.28 2銘柄	822.28 4銘柄	918 86,732	< 4.9% >
(ニュージーランド)	百株	百株	千円	千円	
MERIDIAN ENERGY LTD	300	230	149	12,983	公益事業
MERCURY NZ LTD	290	170	118	10,229	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	934.31	434.31	93	8,122	公益事業
MANAWA ENERGY LTD	116	116	50	4,358	公益事業
INFRATIL LTD	704.04	933.95	1,003	86,845	金融
CONTACT ENERGY LTD	1,460	1,460	1,233	106,813	公益事業
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	3,804.35 6銘柄	3,344.26 6銘柄	2,649 229,352	< 12.8% >
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	4,541.63 8銘柄	4,166.54 10銘柄	- 316,085	< 17.7% >

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資証券

銘柄	期首		期末	
	口数	口数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千口	千口	千円	千円
DEXUS/AU	117	117	826	77,976
HEALTHCO HEALTHCARE & WELLNESS REI	100	50	58	5,522
HMC CAPITAL LTD	-	35	273	25,771
ABACUS STORAGE KING STAPLED UNITS	294.642	194.642	258	24,437
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	111.626	115.277	298	28,184
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	30.517	60.517	190	17,995
RURAL FUNDS GROUP	101.926	85.848	182	17,261
WAYPOINT REIT	29.831	29.831	74	7,040
CHARTER HALL LONG WALE REIT	101.882	101.882	358	33,854
CENTURIA OFFICE REIT	67.679	67.679	83	7,922
CENTURIA CAPITAL GROUP	141.833	146.123	231	21,863
HOMEKO DAILY NEEDS REIT	560.289	450.289	560	52,921
TRANSURBAN GROUP	70.413	6.413	82	7,791
APA GROUP	104.847	23.847	188	17,784
REGION GROUP	204.115	204.115	457	43,161
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	37.919	37.919	87	8,232
NATIONAL STORAGE REIT	245.84	251.798	619	58,473
DEXUS INDUSTRIA REIT STAPLED UNIT	37.348	37.348	109	10,330
SCENTRE GROUP	565	545	1,869	176,466

銘柄	期首		期末	
	口数	口数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	千円	千円
ARENA REIT	272.432	214.024	817	77,178
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	118.5	118.5	404	38,145
GPT GROUP	285.7	233.7	1,065	100,599
CHARTER HALL RETAIL REIT	32.557	32.557	112	10,603
MIRVAC GROUP	485	485	1,018	96,146
STOCKLAND	282.055	282.055	1,283	121,148
ABACUS GROUP UNIT	200	130	139	13,192
GOODMAN GROUP	80.2	50.4	1,742	164,523
VICINITY CENTRES	343	343	716	67,672
CHARTER HALL GROUP	77	69.5	874	82,534
INGENIA COMMUNITIES GROUP	20.658	20.658	104	9,906
オーストラリア・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	5,119.809 29銘柄	4,539.922 30銘柄	15,091 < 79.7% >
(ニュージーランド)	千口	千口	千円	千円
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	58.972	52	4,544
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	21	43	3,799
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	79.972 2銘柄	79.972 2銘柄	96 < 0.5% >
合計	口数、金額 銘柄数<比率>	5,199.781 31銘柄	4,619.894 32銘柄	- < 80.2% >

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年8月5日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円	%
投資証券	316,085	17.6
コール・ローン等、その他	1,432,986	79.8
投資信託財産総額	45,909	2.6
	1,794,981	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月5日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=94.40円、1ニュージーランド・ドル=86.58円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(1,779,106千円)の投資信託財産総額(1,794,981千円)に対する比率は、99.1%です。

# オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年8月5日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,794,981,823円</b>
コール・ローン等	32,127,894
株式(評価額)	316,085,669
投資証券(評価額)	1,432,986,548
未収配当金	13,781,712
<b>(B) 負債</b>	<b>7,835,100</b>
未払解約金	7,835,100
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>1,787,146,723</b>
元本	891,117,476
次期繰越損益金	896,029,247
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>891,117,476口</b>
<b>1万口当り基準価額(C / D)</b>	<b>20,055円</b>

\* 期首における元本額は1,043,850,721円、当作成期間中における追加設定元本額は85,468,969円、同解約元本額は238,202,214円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額:

オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) 880,282,156円  
オーストラリア・リアルアセット・ファンド 10,835,320円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は20,055円です。

## ■損益の状況

当期 自2024年2月6日 至2024年8月5日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>39,220,115円</b>
受取配当金	38,872,721
受取利息	347,539
支払利息	△ 145
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>45,946,926</b>
売買益	125,984,121
売買損	△ 80,037,195
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 1,251,178</b>
<b>(D) 当期損益金(A + B + C)</b>	<b>83,915,863</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>971,047,553</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△248,053,594</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>89,119,425</b>
<b>(H) 合計(D + E + F + G)</b>	<b>896,029,247</b>
<b>次期繰越損益金(H)</b>	<b>896,029,247</b>

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

S & P / A S X 200指数およびS & P オーストラリア R E I T 指数はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S&P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup>およびCDX<sup>®</sup>は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones<sup>®</sup>は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはS P D J Iに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P / A S X 200指数およびS & P オーストラリア R E I T 指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

# ダイワ・マネー ポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)

## 運用報告書 (全体版) 第8期

(決算日 2024年12月9日)  
(作成対象期間 2023年12月12日~2024年12月9日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	無期限 (設定日：2017年9月19日)	
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ、ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券 ロ、円建ての債券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、配当等収益等の額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税 分 込 配 金	期 騰 落 中 率			
4期末 (2020年12月9日)	円 9,943	円 0	% △0.1	% -	% -	百万円 1
5期末 (2021年12月9日)	9,937	0	△0.1	-	-	1
6期末 (2022年12月9日)	9,930	0	△0.1	-	-	1
7期末 (2023年12月11日)	9,923	0	△0.1	-	-	1
8期末 (2024年12月9日)	9,921	0	△0.0	62.7	-	1

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

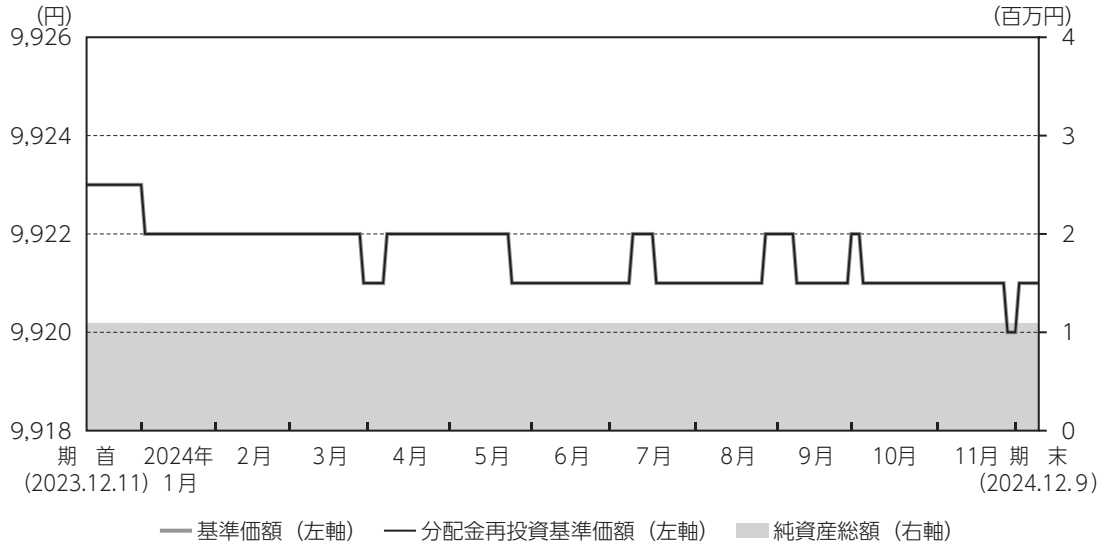
(注4) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

(注5) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\*分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

#### ■基準価額・騰落率

期首：9,923円

期末：9,921円 (分配金0円)

騰落率：△0.0% (分配金込み)

#### ■基準価額の主な変動要因

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券を通じて投資した短期の国債およびコール・ローン等の利回りが低位で推移したことなどから、基準価額はおおむね横ばいとなりました。



ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	債 券 先 物 率
	騰 落 率	率		
(期首) 2023年12月11日	円 9,923	% -	% -	% -
12月末	9,923	0.0	-	-
2024年 1 月末	9,922	△0.0	-	-
2 月末	9,922	△0.0	-	-
3 月末	9,921	△0.0	56.7	-
4 月末	9,922	△0.0	55.5	-
5 月末	9,921	△0.0	57.9	-
6 月末	9,921	△0.0	53.8	-
7 月末	9,921	△0.0	53.8	-
8 月末	9,922	△0.0	54.8	-
9 月末	9,922	△0.0	59.8	-
10月末	9,921	△0.0	58.9	-
11月末	9,920	△0.0	62.7	-
(期末) 2024年12月 9 日	9,921	△0.0	62.7	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2023.12.12~2024.12.9)

### ■国内短期金融市況

当作成期首より2024年2月までは、日銀のマイナス金利政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りはおおむねマイナス圏で推移しました。その後、3月に日銀はマイナス金利政策を解除しましたが、緩和的な金融環境が継続する中、国庫短期証券（3カ月物）の利回りは低位で推移しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023.12.12~2024.12.9)

### ■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年12月12日 ～2024年12月9日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	—

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023.12.12~2024.12.9)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	4円	0.041%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,922円です。
(投 信 会 社)	(1)	(0.009)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(3)	(0.032)	販売会社分は、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0.033	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(3)	(0.033)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	7	0.074	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表  
親投資信託残高

種 類	期 首 当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	千口 1,089	千口 1,089	千円 1,091

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	千円 1,091	% 99.7
コール・ローン等、その他	3	0.3
投資信託財産総額	1,094	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,094,958円
コール・ローン等	3,249
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド(評価額)	1,091,709
(B) 負債	560
未払信託報酬	379
その他未払費用	181
(C) 純資産総額(A - B)	1,094,398
元本	1,103,110
次期繰越損益金	△ 8,712
(D) 受益権総口数	1,103,110口
1万口当り基準価額(C / D)	9,921円

\*期首における元本額は1,103,110円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は9,921円です。

\*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は8,712円です。

■損益の状況

当期 自2023年12月12日 至2024年12月9日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	545円
売買益	545
(B) 信託報酬等	△ 814
(C) 当期損益金(A + B)	△ 269
(D) 前期繰越損益金	△5,333
(E) 追加信託差損益金	△3,110
(売買損益相当額)	(△3,110)
(F) 合計(C + D + E)	△8,712
次期繰越損益金(F)	△8,712
追加信託差損益金	△3,110
(売買損益相当額)	(△3,110)
繰越損益金	△5,602

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	0
(h) 受益権総口数	1,103,110口

# ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

## 運用報告書 第16期 (決算日 2024年12月9日)

(作成対象期間 2023年12月12日～2024年12月9日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

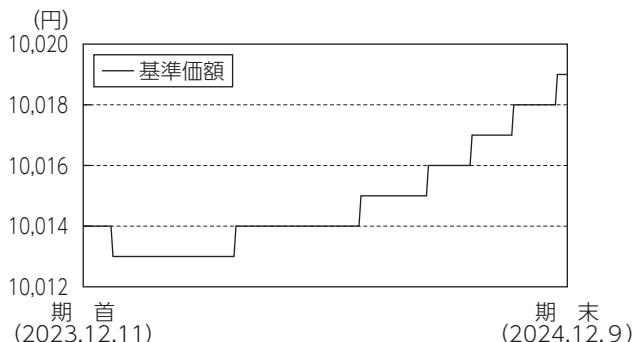
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
	円	%	%
(期首)2023年12月11日	10,014	-	-
12月末	10,014	0.0	-
2024年 1 月末	10,013	△0.0	-
2 月末	10,013	△0.0	-
3 月末	10,013	△0.0	56.8
4 月末	10,014	0.0	55.6
5 月末	10,014	0.0	58.1
6 月末	10,014	0.0	54.0
7 月末	10,015	0.0	54.0
8 月末	10,016	0.0	55.0
9 月末	10,017	0.0	60.0
10 月末	10,018	0.0	59.1
11 月末	10,018	0.0	62.9
(期末)2024年12月 9 日	10,019	0.0	62.9

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,014円 期末：10,019円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債およびコール・ローン等の利回りが低位で推移したことなどから、基準価額はおおむね横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期首より2024年2月までは、日銀のマイナス金利政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りはおおむねマイナス圏で推移しました。その後、3月に日銀はマイナス金利政策を解除しましたが、緩和的な金融環境が継続する中、国庫短期証券（3カ月

物）の利回りは低位で推移しました。

- ◆前作成期末における「今後の運用方針」  
流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。
- ◆ポートフォリオについて  
流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。
- ◆ベンチマークとの差異について  
当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。  
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	95,595,643	(63,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

		当		期	
		買	付	売	付
銘	柄	金	額	銘	柄
		千円		千円	
1219	国庫短期証券 2024/6/24	32,999,307			
1258	国庫短期証券 2024/12/23	32,596,486			
1239	国庫短期証券 2024/9/24	29,999,850			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内 (邦貨建) 公社債 (種類別)

区 分	当 期		期 末			
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率	
	千円	千円	%	%	%	
国債証券	32,600,000	32,599,453	62.9	—	62.9	
				5年以上	2年以上	2年末満
				%	%	%
				—	—	—

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。  
 (注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内 (邦貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	当 期		期 末	
		年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
国債証券	1258国庫短期証券	—	32,600,000	32,599,453	2024/12/23

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

項 目	当 期		期 末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公社債	32,599,453	62.9		
コール・ローン等、その他	19,265,458	37.1		
投資信託財産総額	51,864,911	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月9日現在

項 目	当 期	期 末
(A) 資産		51,864,911,730円
コール・ローン等		19,265,458,266
公社債(評価額)		32,599,453,464
(B) 負債		2,765,000
未払解約金		2,765,000
(C) 純資産総額(A-B)		51,862,146,730
元本		51,764,911,701
次期繰越損益金		97,235,029
(D) 受益権総口数		51,764,911,701口
1万口当り基準価額(C/D)		10,019円

\* 期首における元本額は62,579,567,123円、当作成期間中における追加設定元本額は19,540,096,318円、同解約元本額は30,354,751,740円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額:

ダイワ米ドル・プルファンド (適格機関投資家専用)	48,964,798円
ダイワ米ドル・ベアファンド (適格機関投資家専用)	3,520,288,985円
ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	1,089,639円
ダイワリリートベア・ファンド (適格機関投資家専用)	595,752,000円
米国債プラス日本株式ファンド2021-01 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	1,518,511円
米国債プラス日本株式ファンド2021-07 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	1,993,906円
ダイワ/バリュース・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス	9,976円
通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型)	1,346円
通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ (毎月分配型)	1,346円
オール・マーケット・インカム戦略 (資産成長重視コース)	1,973円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定額分配コース)	1,973円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定率分配コース)	1,973円
オール・マーケット・インカム戦略 (予想分配金提示型コース)	1,973円
NYダウ・トリプル・レバレッジ	1,079,436,135円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年1回決算型)	998円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年2回決算型)	998円
NASDAQ100 3倍ベア	675,399,527円
ポーレン米国グロース株式ファンド (資産成長型)	998円
ポーレン米国グロース株式ファンド (予想分配金提示型)	998円
トレンド・キャッチ戦略ファンド	9,977円
AHLターゲットリスクリート戦略ファンド (適格機関投資家専用)	8,076,387,870円
ダイワJGBベア・ファンド2 (適格機関投資家専用)	37,760,624,420円
ダイワ/ロジャース国際コモディティTM・ファンド	2,417,017円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) アジア通貨・コース (毎月分配型)	998円
ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	999円
ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型)	999円
ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド (為替ヘッジなし/年4回決算型)	999円
ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド (為替ヘッジあり/年4回決算型)	999円
ダイワ米国債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - USトラリアングル	997,374円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,019円です。



■損益の状況

当期 自2023年12月12日 至2024年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	27,861,093円
受取利息	29,709,921
支払利息	△ 1,848,828
(B) 有価証券売買損益	82
売買益	82
(C) 当期損益金(A + B)	27,861,175
(D) 前期繰越損益金	85,071,521
(E) 解約差損益金	△44,514,349
(F) 追加信託差損益金	28,816,682
(G) 合計(C + D + E + F)	97,235,029
次期繰越損益金(G)	97,235,029

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。